

## 令和3年度 議会ふれあいミーティング（白銀・白銀南地区）開催報告書

開催日時	令和3年11月21日（日） 10時00分～12時00分
開催場所	八戸市水産会館 2階 大研修室
出席議員	森園 秀一、吉田 淳一、坂本 美洋、壬生 八十博、豊田 美好、寺地 則行、 小屋敷 孝、夏坂 修、藤川 優里、高山 元延、日當 正男、苫米地 あつ子、 久保 しょう、間 盛仁、高橋 正人、高橋 貴之 ※各出席議員の役割分担は、別紙1のとおり。
参加者数	56名

### 1 次 第

- (1) 開会 藤川 優里 議員
- (2) 主催者あいさつ 森園 秀一 議長
- (3) 地域代表あいさつ 白銀振興会 荒川 繁信 会長
- (4) 議会報告 夏坂 修 議員
  - ① 市議会の役割
  - ② 市議会の仕事
  - ③ 具体的事例
- (5) 防災への取組の紹介 防災危機管理課 職員
- (6) グループワーク
  - ① 津波防災 ～ 津波からの避難 ～
  - ② 津波防災 ～ 地域住民と地域企業の連携 ～
  - ③ 日頃の備えと避難所運営
  - ④ 女性目線の防災と避難所運営
  - ⑤ 学校にいる時に津波 ～ 学校と、地域と、家族と ～
- (7) 総評 岬台地区連合町内会 大館 恒夫 会長
- (8) 御礼 坂本 美洋 議員
- (9) 閉会 藤川 優里 議員

### 2 グループワークの進め方

- ①テーマ毎にアイデアを付箋に書き、1枚目の模造紙に貼る。
- ②防災の説明を聞き、アイデアの追加をする。
- ③1枚目の模造紙に出されたアイデアを、2枚目の模造紙の「自助」、「共助」、「公助」に分類する。\*学生グループは「学校と」、「地域と」、「家族と」に分類する。
- ④2枚目の模造紙に分類したアイデアを、優先度で並べ替える。
- ⑤グループで話し合った内容を発表する。
- ⑥他のグループの発表を聞いた感想を話し合う。
- ⑦他のグループの発表を聞いた感想を発表する。

### 3 グループワークの内容

\*ご意見は、グループワークで出された付せんを基に作成しております。

#### (1) 白銀振興会グループ

---

##### 【テーマ】津波防災 ～ 津波からの避難 ～

「自助」では、逃げろ、乳幼児の身の回りの事、自分の生命第一、避難経路の確認、防災グッズの確保、てんでんこ、津波が届かない高台に避難、どこに逃げるか想定する、食料・水の確保、御本尊様の避難、過去帳の保管等の意見があった。

「共助」では、人に知らせる、隣に声がける、周辺へ知らせ逃げる、弱者と一緒に避難等の意見があった。

「公助」では、避難所の会場、交通規制が心配、避難所に誘導、高齢者をどう運ぶか、病気の人の薬、ペットの引受け、事前の訓練等の意見があった。

「他グループ発表の感想」では、避難訓練の見直し、避難所の周りの見直しが必要、神社・公民館以外の避難場所及び訓練、道路・交通のことが大事だと思いました、それぞれグループの特色があった等の声があった。

#### (2) 白銀振興会 + 水産加工業協同組合グループ

---

##### 【テーマ】津波防災 ～ 地域住民と地域企業の連携 ～

「自助」では、命・逃げろ、正確な情報入手、日頃の備え、どうするかを決めておく（避難場所とか）、水の確保、1日1回災害の事を思い出す、アルコールが欲しい、お風呂に水を溜めておく、ラジオの確保等の意見があった。

「共助」では、高齢者への手助け、生存確認、周りの人にどうやって教えるか、災害を知る（発生時の情報・津波の有無・時間）、SNSでの情報交換（デジタル→アナログ）、家族・知人・友人との協力、白銀大橋の有効活用（一方通行にする）、地域との連携が大事、安全な場所、車使用基準、避難所への経路の確認、避難場所・経路・訓練、地域との訓練。バス使用（築港街企業の）、駐車場・広い場所の確保、プライベート空間の確保、発電機の確保、宴会の準備等の意見があった。

「公助」では、高齢者がいる家のマップ、工大一高のそばのローソン脇からの道からの所に踏切欲しい（JR）、避難後お風呂に入れない方を銭湯に入れるようにする等の意見があった。

「他グループ発表の感想」では、学校・企業との協力が大事、AEDなどがどこにあるか・使えるか、個人・企業・学校の役割決める、地域企業との話し合い、合同訓練（企業・病院）、女性の視点、お金を持って逃げる、ローリングストックの重要性（食料）、地域とのコミュニケーション（日頃から）、乳児が健康でいられるような配慮が必要だと思いました、トイレの整備等の声があった。

### (3) 白銀台地区連合町内会グループ

---

#### 【テーマ】日頃の備えと避難所運営

「自助」では、ラジオ、電池、反射式ストーブ+灯油、冬場の暖房器具（電気不要）水・食料（納豆）、ホッカイロ、各家へ通報、ガソリンの補充、ローソクを備える、リヤカー等の意見があった。

「共助」では、防災会避難所開設、ガソリン、リヤカー等の意見があった。

「公助」では、町内会員の安否確認、ライフラインの確保（1週間分位）、リストの作成（高齢者・介護者）、食料・水・インスタント食品・非常食（カップラーメン・あっためるごはん）、灯油、バッテリー、発電機・暖房器具、電気（発電機）、地域企業とのつながり（若い人はここにいる）、被災者認定（一時的なもので良い）、交通サポート、電池、ラジオ、ホッカイロ、クーラーBOX、扇風機、テント、ボランティア募集の拠点（公民館・避難所）等の意見があった。

「他グループ発表の感想」では、コロナ禍における避難所運営知識、町内会と民生委員との連携、学生の力を貸してもらい、避難所となる学校の学生さんお願いね、安全確保のところを家族で話し合っておく、太陽光発電の普及等の声があった。

### (4) 岬台地区連合町内会グループ

---

#### 【テーマ】日頃の備えと避難所運営

「自助」では、食料の準備（3日分×人数）、飲料水の確保（1人3ℓ/日）、生活水の確保、暖房は大丈夫？、常備防災品の確認、避難経路の確保、道路は通れるの？、家具の固定場所の選定、家具の転倒防止等の意見があった。

「共助」では、一人暮らしへの確認、一人暮らしの方はどうしてる？、一人住まいの高齢者などの避難の手助けをする、けが人は何人？、トイレの確保、避難所の設営、家族（各）の情報の把握（個人情報に触れない）、取り敢えず岬台中央公園へ、避難場所の確保、必要なものはあるのか？、町内の住民へ避難所が設置された事を知らせ避難するようアドバイス、炊き出し材料の手段、避難所岬台集会所、避難経路の確認、資機材の点検、機材の試運転等の意見があった。

「公助」では、情報の伝達順位、情報伝達の手段、連絡はどうやって？、AEDの場所の確認、避難訓練が効果的にできているか等の意見があった。

「他グループ発表の感想」では、岬台地区は自主防災組織を立ち上げて15年経過しており機材もかなり揃っている等の声があった。

### (5) 大久保地区連合町内会グループ

---

#### 【テーマ】日頃の備えと避難所運営

「自助」では、自宅の付近の崖・倒木などの危険箇所の把握をしておく、ガソリンを満タン、住宅用消火器を備え付ける、住宅用火災警報器を備え付ける、非常用持ち出し品を準備しておく、家具の倒れ防止が不備、家具が倒れないようにしておく、ドアや避難口に物を置かない、体を鍛える、薬、充電式ラジオ、食料や水など非常食品を備蓄しておく、家族の連絡が取れない（携帯不通）等の意見があった。

「共助」では、地域の小中学校や公民館及び自主防災会とで話し合い避難所運営マニュアルを作成しておく、訓練の必要性、訓練に参加するメンバーがいつも同じである（町内役員

がほとんど)、一人暮らしの高齢者の安否、一人暮らしの世帯の状況が民生委員と共有できていない、関係者間での情報共有、災害によって避難場所が異なる、避難についての正確な情報伝達、避難所を決めていない等の意見があった。

「公助」では、インフラの寸断、災害情報の不良、避難場所、消防車など大型車両が入ってくるには道路が狭い、崖崩れ・水害（大久保地区は高台ですので津波の心配はないかと思う）、道路が破壊している（坂道・崖）等の意見があった。

「他グループ発表の感想」では、私道に砂利を敷く際中学生の協力を得る、企業との連携、防災訓練を「楽しく」できる工夫、市で「防災の日」を作る、市全体で防災意識を高める等の声があった。

## **(6) 女性グループ**

---

### **【テーマ】女性目線の防災と避難所運営**

「自助」では、現金、日頃から災害を意識する、ナプキン、粉ミルク、紙おむつ（老人・妊婦用）、ミルク、自分で安全避難を心がける、食料の用意、アレルギー食、水・食料品、身の周り品、スマホ、飲料水・防災グッズ（常備）、灯油、ケイタイ、マスク、常備薬、お薬手帳、衛生用品、日頃から家族で話をする、使い捨てカイロ、カード、ガソリンの確保、ガソリン・水・灯油・食料を常に満タン、食料の確保、常備品の確保、ゴミ袋、防寒具、軍手、ペーパータオル・ナイロン袋（大小）・ペーパー皿、ケイタイ用充電器・マスク・スリッパ等の意見があった。

「共助」では、避難経路の確保、毛布、飲料水、救急箱（応急処置用）、生理用品、消毒、各種携帯電話の充電器、食料の配給、アレルギー食、ミルク、発電機の確保、高い所に逃げる等の意見があった。

「公助」では、役所の担当者のリーダーシップ、普段からのコミュニケーション、ペットの避難場所、充電器（業者からの提供）、着替えの場所、下着を配布して欲しい、高齢者・障害者など場所を区切る、赤ちゃんの授乳場所、トイレの確保、トイレの場所、トイレ（マンホールトイレなど）等の意見があった。

「他グループ発表の感想」では、地域の企業等との連携の大切さ（食料、紙おむつ、生理用品、入浴券の提供なども）や避難誘導、安全確保の難しさを感じた（民生委員さんなど）等の声があった。

## **(7) 学生グループ**

---

### **【テーマ】学校にいる時に津波 ～ 学校と、地域と、家族と ～**

「学校と」では、学校に避難しようとしている高齢者の手伝い、自力で避難できない人の手伝い、学校が避難所だから、地域の人のご案内をする、中学校に避難者がきたときの生徒の居場所の確保、大人のやっていることを手伝う、焦らず先生の指示に従う、避難所設営の手伝いをする（ベット・テント）、（学校で）必要以上に騒がない・動かない、災害用品の持ち込みを普段からしていないため不安、トイレの数やトイレットペーパーが少ない等の意見があった。

「地域と」では、お年寄りのグループを避難場所へ案内する、避難所がある場所を確認する、食料、大人の指示聞く、冬の場合の防寒対策、小さい子を連れて逃げる、尊重、尊重して行動、協力、地域の人々の状況を確認する、地域の人と災害についての話をしておく、コロ

ナ対策（避難場所に集まった時）、歩道がガタガタしていると危ない、避難所のコンセントがある場所を確認する、みんなが使えるように延長コードとか準備する、ブレーカーを落としたかどうかの確認等の意見があった。

「家族と」では、ライフラインの確保、家族と避難経路を確認する、火の始末、日用品の確保、家族との集合場所、冷たいカレーなどを買って置く、水を多く買って置く、ペットの居場所は？、ペットどうしましょう、家族と連絡をとる、連絡先を知る、家族とのレンレクのため学校にスマホの持込みをOKにしてほしい、災害用品を用意する、大事な物はすぐ取れるところにおく、災害用伝言ダイヤル「171」を知る、連絡手段、電気の使用×どうする？、懐中電灯をすぐに撮れる場所に置いておく、発電機を持つ、モバイルバッテリー確保、情報を知るためラジオを準備する、公民館と家が近いので危険では？等の意見があった。

「他グループ発表の感想」では、高齢者の避難の点で地域と交流がもっと必要だと感じた、一人暮らしの高齢者の避難は学校の生徒とも協力できる、宴会の余興を生徒が歌や漫才、持ち歩けるトイレを準備、トイレの確保、水の準備、一人暮らしのお年寄りについて、水が使えない（トイレやお風呂）時の代用できるものを身近に、AEDの使い方をもっと知るべきだと感じた、AEDの場所を把握、AEDの使い方、近隣住民の把握、衛生面の対策、女性グループと家族と何を話し合うかを話したい、逃げる、救急箱、授乳場所の確保、水が使えなくなったら、一人暮らしの人とのコミュニケーション大切、筋トレしておく、タクシー代免除、お薬手帳、金、避難所で部屋を分ける（仕切りとか）等の声があった。

#### 4 その他

- ・当日写真 別紙2のとおり。
- ・参加者アンケート結果 別紙3のとおり。

## 【各出席議員の役割分担】

役 割		担当人数	担 当 者
会議運営	あいさつ	4名	主催者あいさつ：森園 秀一 議長 地域代表あいさつ：白銀振興会 荒川 繁信 会長 総評：岬台地区連合町内会 大館 恒夫 会長 御礼：坂本 美洋 議員
	司会進行	1名	藤川 優里 議員
	議会報告	1名	夏坂 修 議員
	防災の取組紹介	2名	防災危機管理課 職員2名
	グループワーク		①白銀振興会 高山 元延 議員、小屋敷 孝 議員 ②白銀振興会 + 水産加工業組合 壬生 八十博 議員、間 盛仁 議員 ③白銀台地区連合町内会 寺地 則行 議員、久保 しょう 議員 ④岬台地区連合町内会 夏坂 修 議員 ⑤大久保地区連合町内会 吉田 淳一 議員、高橋 正人 議員 ⑥女性グループ 豊田 美好 議員、苫米地 あつ子 議員 ⑦学生グループ 森園 秀一 議長
受付	3名	吉田 淳一 議員、苫米地 あつ子 議員、間 盛仁 議員	
マイク渡し	2名	高山 元延 議員、小屋敷 孝 議員	
写真撮影	1名	日當 正男 議員	
アンケート回収	12名	グループワーク担当議員	
録音・報告書作成	3名	間 盛仁 議員、高橋 正人 議員、高橋 貴之 議員	
資料作成	2名	藤川 優里 議員、高橋 貴之 議員、防災危機管理課	
取材対応	2名	森園 秀一 議長、藤川 優里 議員	
会場準備・後片付け			全議員

▼主催者代表挨拶 森園議長



▼地域代表挨拶 白銀振興会 荒川繁信会長



▼議会報告 夏坂議員



▼防災への取組の紹介 防災危機管理課職員



▼グループワークの様子



▼総評 岬台地区連合町内会 大館恒夫会長



▼お礼 坂本議員









# 日頃の備えと避難所運営

コロナ禍に  
おける避難所  
運営改善

町内会と  
民生委員  
との連携

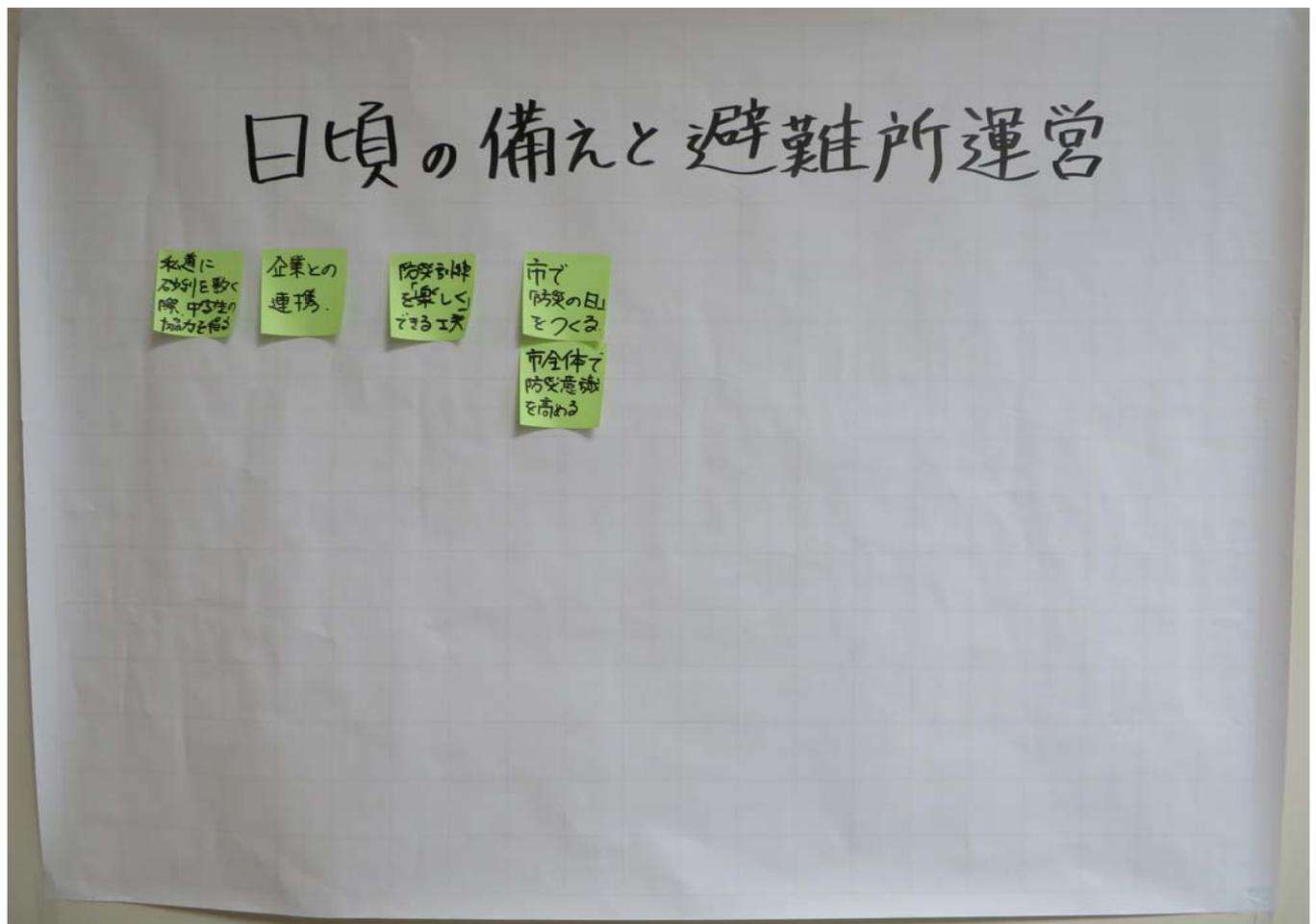
学生への  
借出

安全確保  
AIやICT  
活用

太陽光  
発電  
の普及

避難所  
の運営  
改善







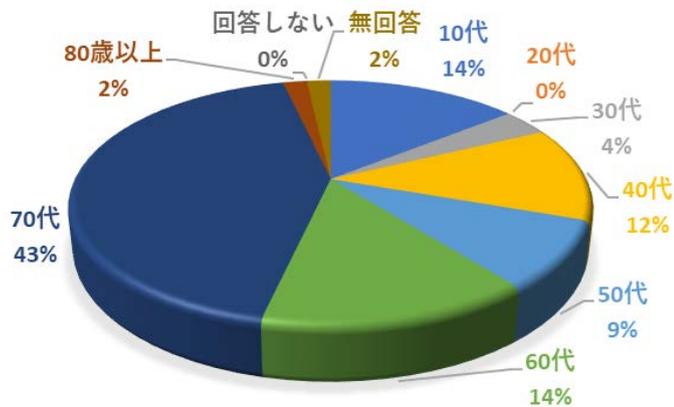


## 令和3年11月21日「議会ふれあいミーティング（白銀・白銀南地区）」アンケート結果

◎参加者数：56人 ◎アンケート回収枚数：56枚（回収率100%）

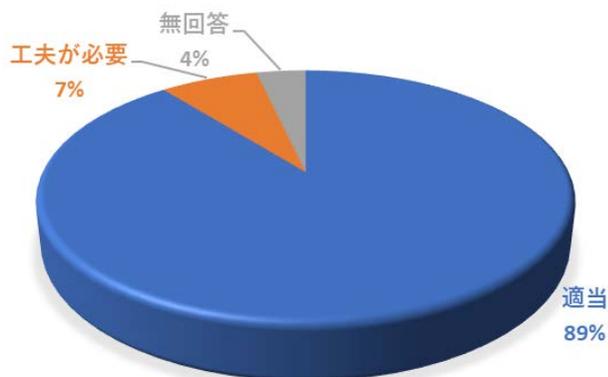
## Q1：参加者のご年齢について

10代	20代	30代	40代	50代
8	0	2	7	5
60代	70代	80歳以上	回答しない	無回答
8	24	1	0	1



## Q2：議会ふれあいミーティングの開始時刻について

適当	工夫が必要	無回答
50	4	2

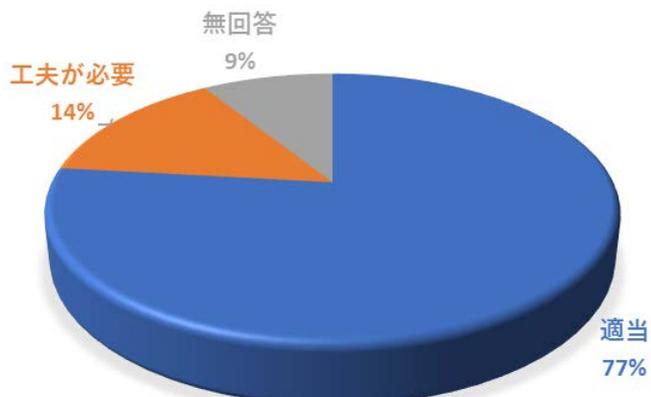


## 《その他意見》

- ・個人的にもう少し遅い方がいい（40代）
- ・早い方が良いと思う（70代）
- ・もう少し時間があれば。（70代）
- ・日曜日以外では。（70代）

## Q3：議会ふれあいミーティングの時間について

適当	工夫が必要	無回答
43	8	5

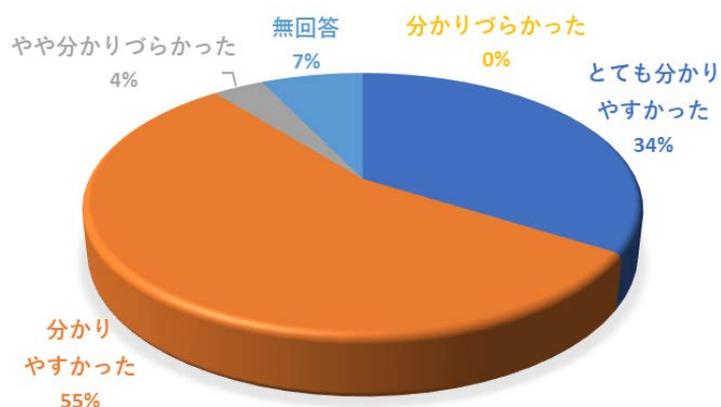


## 《その他意見》

- ・もう少し話し合いの時間がほしかったです。（10代）
- ・時間をもう少し必要（グループ人数が多い為）。（30代）
- ・短い。（60代）
- ・時間が短い。（70代）
- ・1時位にして欲しい。（70代）
- ・午後の方が。（70代）

#### Q4:議会報告会の内容について

とても分かりやすかった	分かりやすかった	やや分かりづらかった	分かりづらかった	無回答
19	31	2	0	4

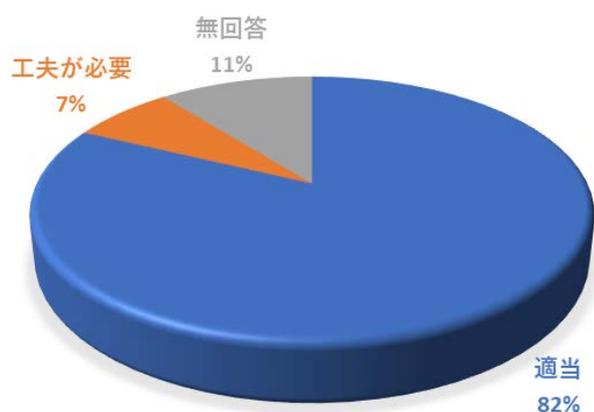


#### 《その他意見》

- ・具体例を多く示しておりわかりやすかった。(70代)

#### Q5:配布資料について

適当	工夫が必要	無回答
46	4	6

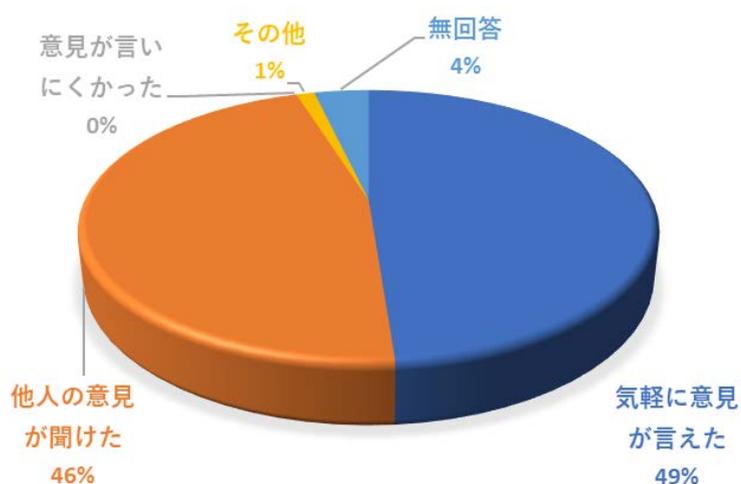


#### 《その他意見》

- ・当初、何が目的なのか分かりづらかった。(70代)

#### Q6:ワークショップについて

気軽に意見が言えた	他人の意見が聞けた	意見が言いにくかった	その他	無回答
40	38	0	1	3

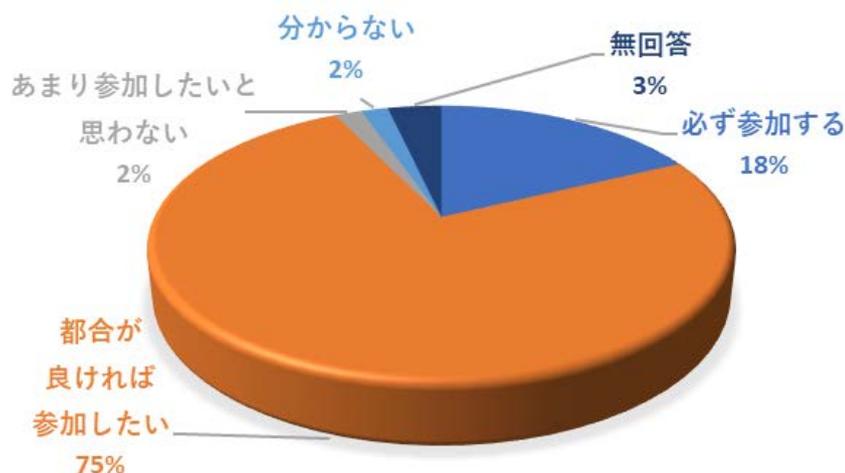


#### 《その他意見》

- ・学校関係以外の地域の方や企業の方の意見も聞くことができ大変勉強になりました。(40代)
- ・引率でした。(50代)
- ・アドバイザー議員がリードしてくれてスムーズに行えた。(70代)

### Q7:今後の参加について

必ず参加する	都合が良ければ参加したい	あまり参加したいと思わない	参加しない	分からない	回答なし	無回答
10	42	1	0	1	0	2



### Q8: その他議会ふれあいミーティングに関するご意見について

- ・とても楽しかったです。(10代)
- ・いつかのテーマ「海洋プラ×白銀 (SDGS)」。いつか取り上げて下さい。(30代)
- ・この話し合いでの結果が気になります。(30代)
- ・市議の方となかなか貴重な会でした。またやってください。(40代)
- ・議会報告について中学校3年社会科公民での地方自治の単元に生かしていけるのでは?と思い聞いていました。「議会だより」等の活用をしていきたいと思うのですが中学生には難しいところもあると思います。数年に一度、中学生向けの学習用の冊子を作っても良いと思います。今回はありがとうございました。(40代)
- ・様々な角度のテーマでもっと若い層を集めてやって欲しい。(40代)
- ・各団体、市議会との意見交換等は地域発展にとってとても有意義だと感じます。(50代)
- ・いい機会を与えていただき、ありがとうございます。議会の皆さんはすばらしいです。自分が何をすべきか考えるきっかけとなりました。(50代)
- ・議会が身近に感じられ、とても良かった。(60代)
- ・良いミーティングだった。(60代)
- ・今回の様なミーティングに参加の機会をいただいた事に感謝致します。(60代)
- ・今後も続けられるようお願いします。(60代)
- ・大変有意義なミーティングでした。(60代)
- ・別の講習会で災害時、高齢の方が指示があっても「ここで死にたい」と動かなかった人があった。そのために後で探す費用、時間に多くを費やしたとありました。考えさせられます。(70代)
- ・もっともっと地域に入って意見に耳を傾けて欲しい。(70代)
- ・なかなかいい企画なので続けて下さい。(70代)
- ・議員の方々はとても良かった。市職員の意識が足りないと思う(災害に関して)。(70代)
- ・自分なりに参考になりました。(70代)
- ・議員と気軽に活かせる機会は多くあった方が良い。(70代)
- ・継続するように。(70代)
- ・継続お願いします。(70代)
- ・様々な発表、ご意見がありました。大変参考になりました。ただ、今後どう活かすかだと思います。(70代)
- ・定期的に開催することを望む。(70代)
- ・今回のミーティングを参考に実行してほしい。(70代)
- ・直接市議と地域住民、学生たちとの“ふれあい”意見を交わすことは大事なことです。これからも継続して下さい。(70代)